横浜国立大学 臨海環境センター 防災ガイドライン

○ 横浜国立大学臨海環境センター（以下「臨海環境センター」）の利用に際して、自然災害による危険が予測される場合は、気象庁の防災気象情報や自治体（真鶴町）から発令される各種警報（警戒レベル）を常に確認し、本ガイドラインを参考に対応してください。

○ 地震や津波は予測が困難な場合があるため、臨海環境センター利用開始時には、必ず避難先を確認してください。

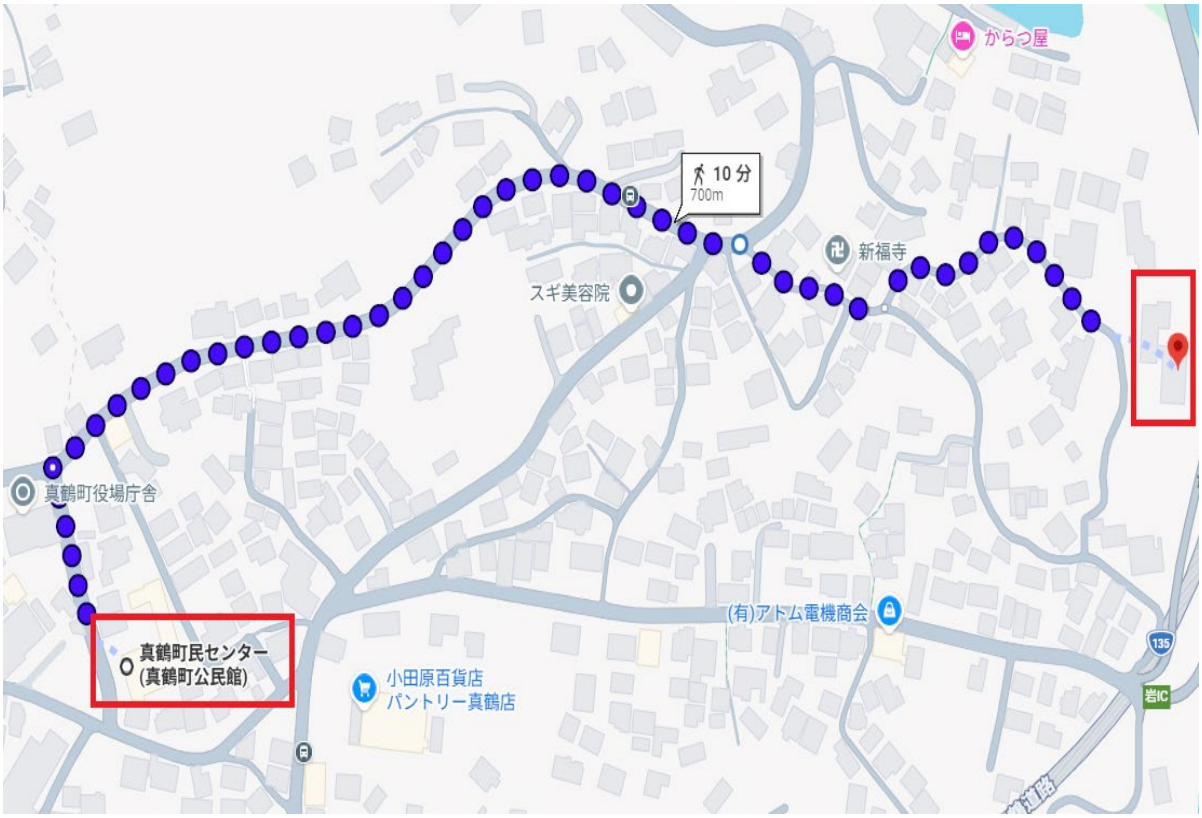
【指定緊急避難場所（緊急避難先）

▶避難先：【真鶴町民センター】

▶真鶴町民センターのご案内／真鶴町

住所：〒259-0202 神奈川県足柄下郡真鶴町岩 172-8

移動距離：**約 700m** ／ 所要時間：**徒歩で約 10 分（推奨ルートは下記図の通り）**



▶真鶴町民センター以外の避難先（参考）：避難場所一覧／真鶴町

▶　利用者向けガイドライン

臨海環境センターを利用する方は、自然災害による危険が予測される場合、気象庁の防災気象情報、真鶴町から発令される避難情報、交通機関の運行状況等を確認し、安全を最優先に行動してください。

地震や津波は予測が困難な場合があるため、利用開始時には必ず避難先及び避難経路を確認してください。

1. 施設利用前の確認事項

- 利用前に、真鶴町民センターまでの避難経路を確認してください。
- 気象警報、津波注意報・警報、交通機関の運休情報等を確認してください。
- センターから利用中止又は利用方法変更の連絡があった場合は、その内容に従ってください。
- 滞在中は、非常口、避難経路、防災用品の場所を確認してください。

2. 台風接近時の対応

- 利用日前日又は利用当日に、暴風警報、大雨警報、高潮警報、土砂災害警報等が発表されている場合は、センターからの連絡（原則メールにて連絡）を確認してください。
- 利用中止の連絡があった場合は、来所を控えてください。
- 滞在中に台風の影響が強まった場合は、外出を控え、窓ガラスや飛来物の危険がある場所から離れてください。
- 屋外・海上活動中に雷鳴や急な天候悪化を確認した場合は、直ちに活動を中止し、頑丈な建物内又は車内へ退避してください。

3. 地震・津波発生時の対応

- 揺れを感じたら、まず頭部を保護し、落下物・倒壊物から身を守ってください。
- 海岸付近にいる場合は、揺れがおさまった後、直ちに海岸から離れてください。
- 震度 4 以上の揺れ、長くゆっくりした揺れ、又は津波注意報・警報等を確認した場合は、指示を待たずに真鶴町民センターへ徒歩で避難してください。
- 避難時は海岸、港、河口付近に近づかず、荷物の持ち出しは最小限としてください。
- 避難先到着後は、安否確認に協力し、津波注意報・警報が解除されるまでセンター及び海岸付近には戻らないでください。

4. 負傷者・火災発生時の対応

- 負傷した場合又は周囲に負傷者がいる場合は、管理者又は周囲の人に知らせ、無理に移動しないでください。
- 火災を発見した場合は、直ちに周囲へ知らせ、管理者の指示に従って屋外へ退避してください。
- 避難時は煙を吸わないよう姿勢を低くし、ハンカチや衣類等で口・鼻を覆ってください。

- 屋外へ退避した後は、安否確認に協力し、安全確認があるまで建物内へ戻らないでください。

5.連絡先

臨海環境センター （平日 9:00-16:00 のみ）	メール	**ynugr-mmcer-riyo@ynu.ac.jp**
	電話番号	0465-68-0055
大学事務局　担当係 産学・地域連携課地域連携係 （平日　08：30-17：15 のみ）	メール	**sangaku.chiiki@ynu.ac.jp**
	電話番号	045-339-4455
真鶴町役場総務防災課防災係	0465-68-1131（内線 314）	
緊急通報	警察: 110	
	消防・救急: 119	
	横浜国立大学（代表）045-339-3013	